

令和5年度 広島県病害虫発生予察情報 技術情報第2号

令和5年8月24日(木) 発表 広島県西部農業技術指導所

カンキツ黒点病の防除を徹底しましょう

県内全域で、カンキツ黒点病の発生が平年に比べて多く、多発園も確認されています。今後も発生の拡大が予想されるため、基幹防除を徹底し、降雨状況に応じた追加防除を行いましょう。

1 発生状況

(1) 8月中旬の巡回調査(8月4～8日)では、発生地点率が70.9% (平年70.4%)、発病果率が20.1% (平年11.6%)、発病度が7.85 (平年2.16) でした(図1、2、3)。特に、ウンシュウミカンおよびレモンでは、発病度の高い園地が複数確認されました。発生地点率は平年並ですが、**発病果率は平年に比べ1.7倍、発病度は3.6倍**の発生であり、**発病度は過去10年間で最も高い**発生でした(図2、3)。

2 今後の予想

(1) 発生地域：県内全域 (2) 発生量：多

3 防除上の注意事項

- (1) 伝染源となる枯枝は速やかに除去し、ほ場から持ち出しましょう。
- (2) 今後の降水量は、多い確率が40%です(図4)。気象予報に注意し、降雨前の予防散布を徹底しましょう。
- (3) 追加防除は、防除後からの累積降雨量が250mmを超えるか、1か月経過したら実施しましょう。
- (4) 防除に当たっては、農薬の登録内容を遵守し、特に、収穫が近い品種については登録された使用時期(収穫前日数)に注意しましょう。

4 関連データ

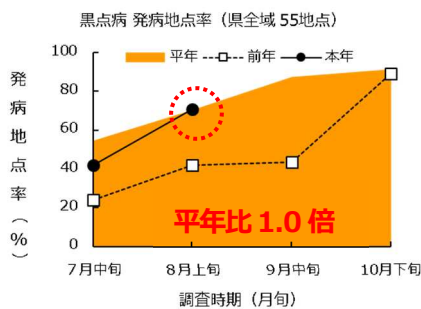


図1 黒点病の発病地点率の推移

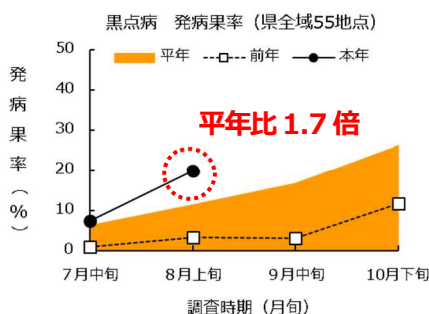


図2 黒点病の発病果率の推移

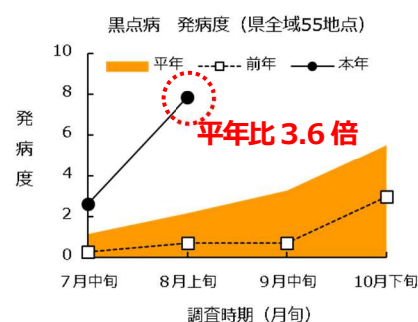


図3 黒点病の発病度の推移

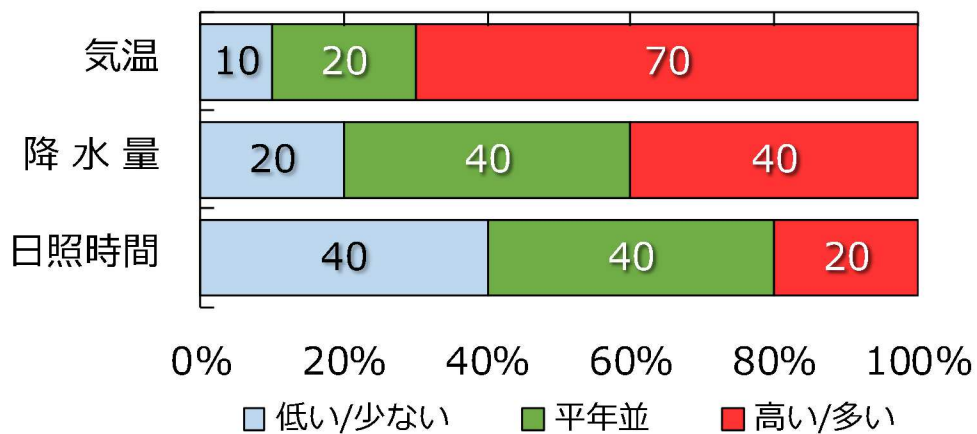


図4 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)
(広島地方気象台8月24日発表、8月26日から9月25日までの天候見通し)



図5 レモンでの黒点病発病状況(8月)



図6 収穫期のウンシュウミカンの発病状況(11月)

● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151
東広島市八本松町原 6869
TEL: 082-420-9662 (直通)



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)

ひろしま病害虫情報

検索

ホームページ
リニューアル!

